

森林整備等への民間資金活用調査実証事業（継続）

【平成27年度概算決定額 26,179（100,000）千円】

事業のポイント

民間資金を活用した森林の整備等を進めるため、企業等に魅力あるメリットを付与するなどの新たな仕組みの構築に向けた検討を実施します。

<背景>

- ・将来にわたって森林の多面的機能の発揮を図るためには、森林の整備・保全に係るコストを社会全体で負担していく必要があります。
- ・民間資金の活用を進めるためには、森林整備等への協力に対する企業等の潜在的意欲を引き出す効果的な仕組みを構築することが重要です。

政策目標

- 国際的に合意された森林吸収量算入上限値（基準年（1990年）総排出量比3.5%）を達成します（25年度～32年度の平均）。

<内容>

平成26年度に検討した森林整備等への民間資金活用を促進する「新たな仕組み」に係る実証的取組を行い、その結果から仕組みの効果や課題の把握及び仕組みの具体化を行うとともに、「新たな仕組み」の汎用性の向上に向けて、各業界との意見交換を通じた問題点の明確化及び仕組みの見直し・修正を行います。

<委託先>

民間団体

<事業実施期間>

平成26年度～平成28年度

[担当課：林野庁森林利用課]